



## 笑顔いっぱい かがやく入谷っ子

入谷っ子祭り

9月28日(水)に入谷っ子祭りを行いました。5・6年生がいくつかのグループに分かれて、様々な遊びを企画し、企画した遊びに1年生から4年生までが参加するというものです。「遊びの企画・準備・運営等の集団活動を通して、自ら考え、協力して行動する力を育てる」ことを目標として、入谷っ子祭りを教育活動に位置づけています。

子供たちは、素晴らしい姿をたくさん見せてくれました。まず、5・6年生。一つ一つの遊びの工夫に驚かされました。低学年・高学年、それぞれに合わせた活動を用意していたり、逆にどの学年に対しても、自分たちでレベルを選べるようにしたりと工夫していました。また、学校にある遊具を使ったり、様々な道具を組み合わせたり、手作りの道具を作ったりして活動を考えていました。どのグループも、身近にある物を活用して、全校が楽しめる遊びを生み出していて、素晴らしかったです。事前に話し合いをしていく中で、様々な意見が出たことと思います。その中で、みんなで折り合いをつけながら、話し合いを重ねて、入谷っ子祭りを実現したことは、大きな成長に繋がったことと思います。

下学年の子供たちにも優しく接する姿がたくさんありました。最初にルール説明をするのですが、途中で分からなくて困っている子供がいると、そばに行ってやり方を丁寧に教えていたり、ボールをゴールに入れられない時には、「大丈夫だよ」と声をかけたり、探している遊びが見つからなくて困っていると、その場に連れて行ったりと、下学年の様子を

見ながら考えて行動する姿があちこちで見られました。遊びに参加したグループに、「ありがとうございます」と声かけする姿もありました。

片付けも素晴らしいものでした。自分たちの片付けが終了すると、他のクラスやグループの片付けを手伝ったり、使用した遊具を元に戻すために、みんなで声をかけあって整えていたり、最後まで、しっかりと取り組んでいました。活動をリードしていたり、仲間と協力していたりする中で、自分の中に芽生えた力、あるいは、今までの活動を通して付けてきた力が発揮できたこと等、振り返る中で、自分の良さとして受け止めてほしいと思いますし、自分にはない仲間の良さも認め、お互いの中にも取り入れてほしいと願っています。

1年生から4年生の参加の仕方も素晴らしいものでした。上級生が話す説明をよく聴こうとしていましたし、順番を守ったり同じグループの仲間と協力しながら遊びに参加したりしていました。「〇〇さんの順番はここだから先にやらせてあげてね」と話しかける上級生に、「いいよ」と答え、自分の前に、違うグループの友達を入れている姿もありました。下学年の子供たちも落ち着いて行動していました。

全校で取り組んだ入谷っ子祭り。みんなですべていい時間を創り出すことができたこと、嬉しく思っています。

お互いの力を発揮し合うことで、みんなが豊かになることは、学校生活を送る上で大切なことです。今後も様々な教育活動を通して子供たちが成長する姿を捉えていきたいと思っています。